

第 7 回検討委員会の主な意見

第 7 回朝霞市基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直し検討委員会（平成 29 年 11 月 30 日開催）において、次の議事について審議等を行い、意見をいただいた。

1 報告

（1）第 6 回検討委員会での検討内容

2 議題

（1）公園・シンボルロード整備基本計画（素案）

1 報告

（特に意見なし）

2 議題

（1）公園・シンボルロード整備基本計画（素案）

	主な意見		市の考え
1	計画書の構成について	基本計画は、こういう公園にしたいというビジョン、それをどのようにするかという手法の基本的なことを示すものであり、それを示す章立てをした方がよい。	ご意見をふまえ、以下のとおり章立てを再構成しました。 はじめに 第 1 章 整備基本計画の見直しについて 第 2 章 公園・シンボルロードのコンセプトと整備の方向性 第 3 章 整備の進め方 第 4 章 管理・運営の考え方
2		この公園によって朝霞がどうなるかという夢のあるメッセージが冒頭にあってよい。	ご意見をふまえ、「はじめに」において、人口減少社会を見据えた中で、公園づくりを通じて多世代の住民の交流、子どもの成長の場、まちの活性化に寄与していくこと、生物多様性を育む緑の拠点及び防災性の向上に寄与する拠点としてまちづくりを支えていくことを加筆しました。
3		人口減少を見据えた考え方、管理運営に小・中学生に関わってもらえる土壌をつくること、施設の整備を最小限にとどめることなどが、「はじめに」の部分などに書かれているとよい。	
4		計画見直しに関する基本的な考え方をはじめの方に示した方がよい。	ご意見をふまえ、素案 9 ページに「1. 2 整備基本計画見直しの考え方」を追加し、計画見直しの考え方として、以下の事項について記載しました。 ①「使いながらつくる、つくりながら考える」公園づくり ②計画地の早期開放・活用に向けた柔軟な事業手法の展開 ③市民、民間と連携した公園整備、管理・運営の推進
5		ある大きな方向、つまり大事な市民に早く提供するということが共有できることを、計画書の頭の方に書いた方がよい。	
6		見直しの考え方を修正した方がよい。『『使いながらつくる、つくりながら考える』を公園全体に広げていく』という原点の姿勢を大事にしながら、お金、土壌汚染、オリンピックをどう関連付けていくか、表現を工夫することで筋がとおると思われる。	

	主な意見		市の考え
7	計画書の構成について	・こういう公園につくります、こうなります、このようにつくりますという章立ての一番初めに、わかりやすい図と説明を示すことが重要。	ご意見をふまえ、素案 29 ページの「図 整備の方向性」に、各ゾーンの整備の方向性を端的に示す説明を加筆しました。
8		・資料 2・12 ページのコンセプトに対応する図が必要。具体的には、25 ページ、27 ページ、29 ページに分散された図を 1 枚に統合すべき。	
9	整備の方向性について	・どのようにつくるかということについては、資料 2・42 ページに文字で示されているが、図が示されているとわかりやすい。	ご意見をふまえ、素案 45 ページに、箇条書きの内容をフローにした「図 公園・シンボルロードの整備の進め方」を加筆しました。
10		・「市道 643 号線沿い」のみ、位置を示すだけの名称となっている。ネーミングを工夫した方がよい。	ご意見をふまえ、名称を「エントランスエリア」に修正しました（素案 29、30 ページ）。
11	整備の進め方について	・北園路について、「できなかったらごめんなさい」という趣旨の一文を書くことが理解できない。	土壌汚染対策の実施主体や実施手法等について国と協議中である現状を考慮し、北園路の整備については、シンボルロード整備基本計画（平成 29 年 6 月策定）と同様の記述としました。
12		・本委員会において、北園路の重要性は十分認識されており、整備について記述できる範囲で記述すべき。	
13		・有償で土地を借りる、そこでお金を稼いでプラスマイナスゼロにするという方針を前面に出して、それをもって国と交渉することも一つの手である。	ご意見をふまえ、「1. 2 整備基本計画見直しの考え方」（素案 9 ページ）のうち、「②計画地の早期開放・活用に向けた柔軟な事業手法の展開」において、一部有償貸付を検討することを記載しました。有償貸付の活用については、「飲食サービスの提供等、仮設施設による収益事業を社会実験的に試行する」と修正しました（素案 63、64 ページ）。
14		・有償貸付などはっきり打ち出した方が、市民の関心が高まるし、答えやすい。	
15		・有償貸付の活用について、もう少し積極的に書いてもよいのではないか。また、キッチンカーを活用した飲食サービスの提供に絞った書き方をしないほうがよい。	
16		・社会保障費が増大する中、先になるほど、用地が無償になりにくくなるのではないか。土壌汚染区域を早く処理する意思を市が示すなど、国との折衝の解決の糸口をこちらから提案する必要があるのではないか。	市としては、公園はすべて国から無償で取得したいという方針で交渉に臨んでおり、国と認識の差はあるものの、交渉を速やかに進めるべきという認識を持っています。また、短期の有料貸付を活用して収益施設の実現可能性を考えていくことなどにも取り組んでまいります。
17		・第 1 期整備の範囲をわかりやすく示すべき。	第 2 期整備同様に、第 1 期整備の範囲をオレンジ色の枠で囲むよう修正しました（素案 51 ページ）。
18	整備水準について	・地下式耐震貯水槽は、南口の駐車場にどうしても必要なものか。	ご意見をふまえ、地下式耐震貯水槽の例示を南口駐車場から西口エリアに変更しました（素案 58 ページ）。
19		・南口駐車場近辺については、朝霞向陽園のところに水利施設でカバーできる。	

	主な意見		市の考え
20	今後の進め方について	・オリンピックに向けあと2年しかないことから、細かいスケジュールを示してほしい。	平成29年6月に策定したシンボルロード整備基本計画に基づき、設計を行う事業者を選定し、10月末に契約を締結して基本設計を進めています。今後、広場の設計、樹木の管理等について市民に説明する機会を設けた上で、平成30年度から広場等の工事に着工する予定です。
21	その他	・計画書の概要を示す資料があるとわかりやすい。	ご意見をふまえ、パブリックコメントの参考資料として、素案の概要版を作成、公表しました。
22		・Park-PFI など、新しい言葉に用語解説をつけてほしい。	ご意見をふまえ、公園の活性化に関する協議会、Park-PFI の説明を脚注に加えました（素案 62、63 ページ）。